

2023

4月号

ちょうしんきん

景況レポート

Economic Report of Sales Territory



Choshi Shinkin Bank



1. 概 況

全体の景況感（全28店舗）

	好転	不変	悪化
前月と比較して	1	25	2
今後3か月程度の見通し	3	22	3

【漁業】
 銚子港の令和5年3月の総水揚げ量は36,605トンで、前月比▲1,342トン、前年同月比▲4,829トンとなった。総水揚げ金額は3,567百万円で、前月比▲264百万円、前年同月比+819百万円となった。

【農業】
 旭地区のキュウリ・トマトの価格相場は、以下の通り。
 キュウリ(等級:秀)1本当たり 高値36円(前月比▲14円)、安値 28円(前月比▲8円)、
 ミニトマト(Mサイズ)1パック当たり 高値140円(前月比▲10円)、安値130円(前月比▲10円)
 気温上昇に伴い各品目の生産量が増加したことが、価格下落の主要因である。資材価格の高止まりに変化は無いことから、生産者の収益状況は引き続き注視が必要である。

【観光業】
 旭市岩井地区では、約1ヘクタールの休耕地で、菜の花と約70本の河津桜が今年も咲き誇り、訪れる人々を楽しませた。景観美化などを目的に、住民らが二十数年前に発足させた岩井鴻ノ巣管理組合が休耕地をきれいに整備し、管理を続けている。河津桜は十数年前に苗木を植え、今ではピンク色の花が黄色いじゅうたんを囲むように咲いている。
 同組合では、菜の花畑は時季が過ぎれば刈り取りや種取りなどを行い、夏には恒例のヒマワリを咲かせる予定となっている。
 市内から1歳の娘と訪れた20代の夫婦は「毎年見に来ているが、今年もきれい。子どもと一緒に写真を撮れたし、思い出になる」と散策を楽しんでいた。

【商業】
 銚子市にある登代発食品では、昨年12月に直売所を一新した。自動販売機を導入することで新たな顧客掘り起こしを図っている。
 やや大きめの皮に、しっかりとしょうゆなどで味付けした銚子市民好みの濃いめの餡を包み込んでいる。もっちり食感も大事にし「焼いてそのまま食べても美味しい」という自慢の商品で、商品包装の見直しやおいしく食べてもらうための調理法を記し販売している。InstagramやSNSを活用して直売所や取り扱い商品の情報を発信し、自動販売機で売り切れが出るほどの好調ぶりとなっている。
 「おいしいものをなるべく安く提供したい。買う人、食べる人、みんなが笑顔になるといい」と願い、味を守りながら愛されるギョーザを提供し続けると意気込んだ。

<業種別天気図>

全 体	漁 業	水産加工業	農 業	商 業
建 設 業	観 光 業	不 動 産 業	養 豚 業	自 動 車

(前月と比較した当月の各業種の景況感を天気図で表示してみました。)



2. 主要業種別動向

■ 漁業・水産加工業

銚子港の令和5年3月の総水揚数量は36,605トンで、前月比▲1,342トン、前年同月比▲4,829トンとなった。総水揚金額は3,567百万円で、前月比▲264百万円、前年同月比+819百万円となった。

勝浦港の令和5年3月の総水揚数量は488トンで、前月比+52トン、前年同月比+341トンとなった。総水揚金額は303百万円で、前月比+45百万円、前年同月比+152百万円となった。

波崎の巻き網船団は、近海で鯖、イワシの操業。稼働日数は8日(前年同月比増減なし)。鯖は魚影なく不漁、イワシ中心の操業となったが豊漁であり型や質から鯖の代替需要から相場付きはよい。

千葉県水産総合研究センターは3月10日、2022年のマグロ類の水揚量を公表した。勝浦漁港が5,951トン(対前年比21%増)、銚子漁港が4,608トン(2%増)で、主要2港はともに前年を上回っている。勝浦漁港は漁が上向いたビンナガが3,756トン(対前年比27%増)になったほか、メバチは647トン(34%増)を確保している。キハダは急増した16年以降、1,500トン前後で推移しており、22年は1,436トン(4%増)だった。19年から増加傾向にあるクロマグロは113トン(18%増)で、右肩上がり状況の維持している。銚子漁港は、数量の変動が大きいビンナガが21年の2,253トンから1,419トン(37%減)へ減少、メバチも07年から微減が続く632トン(31%減)にとどまった。ただし、キハダは前年から82%増の2,345トンで、クロマグロは約2.5倍の211トンへ伸長している。カジキ類は勝浦漁港で07年から減少傾向にあり63トン(37%減)で、主な内訳はメカジキ25トン(29%減)、マカジキ31トン(36%減)。銚子漁港はメカジキ204トン(21%減)、マカジキ72トン(51%減)で総計316トン(31%減)となった。

銚子魚市場水揚高

銚子市漁業協同組合調べ

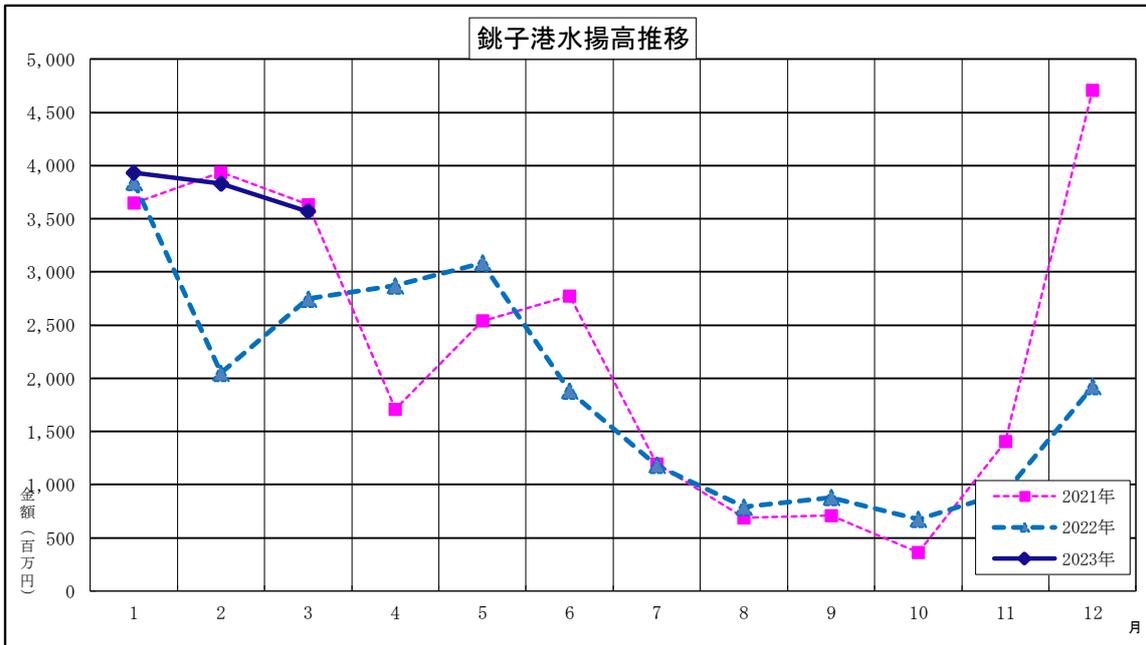
種類	区分	数量(トン)			金額(千円)		
		2023年3月	前年同月	前年同月比	2023年3月	前年同月	前年同月比
鰯		35,114	31,420	3,694	2,243,355	1,058,720	1,184,635
鯖		0	8,431	▲ 8,431	0	701,655	▲ 701,655
鰹		6	0	6	1,679	0	1,679
鰹・鯖		524	276	248	453,223	344,535	108,688
(内鰹一本釣)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
秋刀魚		0	0	0	0	0	0
底曳		275	348	▲ 73	269,184	254,859	14,325
その他		686	959	▲ 273	599,856	388,129	211,727
合計		36,605	41,434	▲ 4,829	3,567,297	2,747,898	819,399

前月比	数量	96.46%
	金額	93.12%
前年同月比	数量	88.35%
	金額	129.82%

水揚日数



	2023年3月	2023年2月	2022年3月
鰯	14日	12日	16日
鯖	0日	1日	11日
鰹	1日	2日	0日
鰹・鯖	22日	19日	22日
(内鰹一本釣)	0日	0日	0日
秋刀魚	0日	0日	0日
底曳	22日	17日	23日
その他	24日	22日	26日



■ 農 業

旭地区のキュウリ・ミニトマトの価格相場は、以下の通り。
 キュウリ（等級：秀）1本当たり 高値36円（前月比▲14円） 安値 28円（前月比▲8円）
 ミニトマト（Mサイズ）1パック当たり 高値140円（前月比▲10円） 安値130円（前月比▲10円）

気温上昇に伴い各品目の生産量が増加したことが、価格下落の主要因である。資材価格の高止まりに変化は無いことから、生産者の収益状況は引き続き注視が必要である。

横芝光町特産のひかりねぎの相場は1箱(5.5kg)1,450円～2,150円で取引された。
 価格相場は先月(2月)と同水準での推移となる。

銚子地区のキャベツ・青首大根の価格相場は、以下の通り。
 キャベツ 買値600～700円、売値900～1,000円
 青首大根 買値700～800円、売値1,000～1,100円
 キャベツ、大根ともに例年通りの単価で推移。目立った天候不良もなく、順調に出荷されている。

■ 商 業

東庄町では、3月21日に旧東庄町立東城小学校の跡地を活用したドローン教習所「東庄ドローンパーク」の開校式が開かれた。運営は、一般社団法人国際ドローン協会（東京都江東区）が行う。

旧東城小学校は約1万1250平方メートルの敷地に、校舎などの建物があり、ドローンの教習は原則校庭で行い、座学は教室などを活用する。有人地帯で操縦者が機体を目視せずに飛行させる「レベル4」の運転に必要な資格「一等無人航空機操縦士資格」が取得できる教習所は全国でも数が少ないという。

同協会代表理事の榎本幸太郎さんは「障害の有無にかかわらず免許が取得できる日本で最初の施設を目指し、ドローンといえば東庄町という町にしたい」と意気込む。

銚子市にある登代発食品では、昨年12月に直売所を一新した。自動販売機を導入することで新たな顧客掘り起こしを図っている。

やや大きめの皮に、しっかりとしょうゆなどで味付けした銚子市民好みの濃いめの餡を包み込んでいる。もっちり食感も大事にし「焼いてそのまま食べても美味しい」という自慢の商品で、商品包装の見直しやおいしく食べてもらうための調理法を記し販売している。インスタグラムやSNSを活用して直売所や取り扱い商品の情報を発信し、自動販売機で売り切れが出るほどの好調ぶりとなっている。

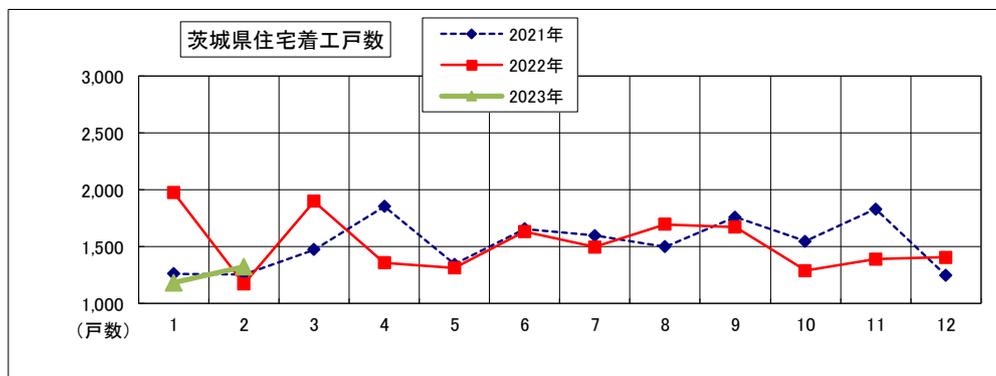
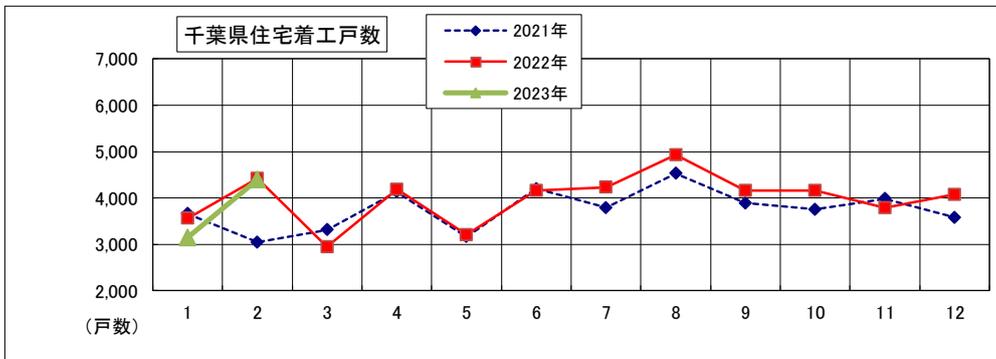
「おいしいものをなるべく安く提供したい。買う人、食べる人、みんなが笑顔になるといい」と願い、味を守りながら愛されるギョーザを提供し続けると意気込んだ。

■ 建設業

令和5年2月の住宅着工戸数は、千葉県で4,397戸と前年同月比99.5%(▲21戸)、茨城県では1,322戸で前年同月比113.0%(+152戸)となった。前月(令和5年1月)比では、千葉県で+1,252戸、茨城県では+141戸となった。

千葉県・茨城県の住宅着工推移は以下のとおり。

	2023年2月	前月戸数	増減
千葉県	4,397	3,145	1,252
茨城県	1,322	1,181	141



国土交通省統計情報より

■ 観光業

銚子市の銚子電鉄を応援するとともに、レトロな鉄道文化を楽しんでもらうイベントが、小田急電鉄運営の「ロマンスカーミュージアム」(神奈川県海老名市)で3月18日～31日に開かれた。

初日には銚子電鉄の竹本勝紀社長が講演し、度重なる経営危機を乗り越えてきた歴史などを紹介。3月19日には、JR千葉支社マスコットキャラ「駅長犬」と銚子市公認マスコットキャラ「ちょーぴー」が駆け付け、銚電の車両の図柄を施したケーキやドリンクなども限定販売された。銚電担当者は、「銚子電鉄の鉄道文化と共に、千葉や銚子のいいところをPRしたい。そして実際に足を運んでもらいたい」と意気込みを語った。

旭市岩井地区では、約1ヘクタールの休耕地で、菜の花と約70本の河津桜が今年も咲き誇り、訪れる人々を楽しませた。景観美化などを目的に、住民らが二十数年前に発足させた岩井鴻ノ巣管理組合が休耕地をきれいに整備し、管理を続けている。河津桜は十数年前に苗木を植え、今ではピンク色の花が黄色いじゅうたんを囲むように咲いている。

同組合では、菜の花畑は時季が過ぎれば刈り取りや種取りなどを行い、夏には恒例のヒマワリを咲かせる予定となっている。

市内から1歳の娘と訪れた20代の夫婦は「毎年見に来ているが、今年もきれい。子どもと一緒に写真を撮れたし、思い出になる」と散策を楽しんでいた。

■ 不動産業

都内企業の進出により、千葉市内の物件については価格高騰（従来の金額より2～3割程度）が継続し、収束傾向もない。近隣の四街道市、佐倉市についても都内企業が進出し始めており今後の価格高騰が予想される。また、千葉市以西の不動産売買は引き続き活発に動いている。

茂原市では、コロナ禍でのリモートへの勤務形態の変化から、東京より1時間程度の広い中古物件の相談は多い一方で、扱う物件の数は不足している。オリンピックのサーフィンの影響から一宮町付近の人気も続いているが、物件が少なく、周辺の長生村やいすみ市近辺まで探しているが既に業者に買占められている状態。

■ 養豚業・畜産業

令和5年3月の東京市場での豚枝肉(上)卸売価格相場は574円/kg(速報値)となり、前月比▲14円/kg、前年同月比で+67円/kgとなった。

鶏卵(Mサイズ)卸売価格は343円/kgとなり、前月比+16円/kg、前年同月比で+148円/kgとなった。

独) 農畜産業振興機構 / J A 全農たまご(株) 統計情報より

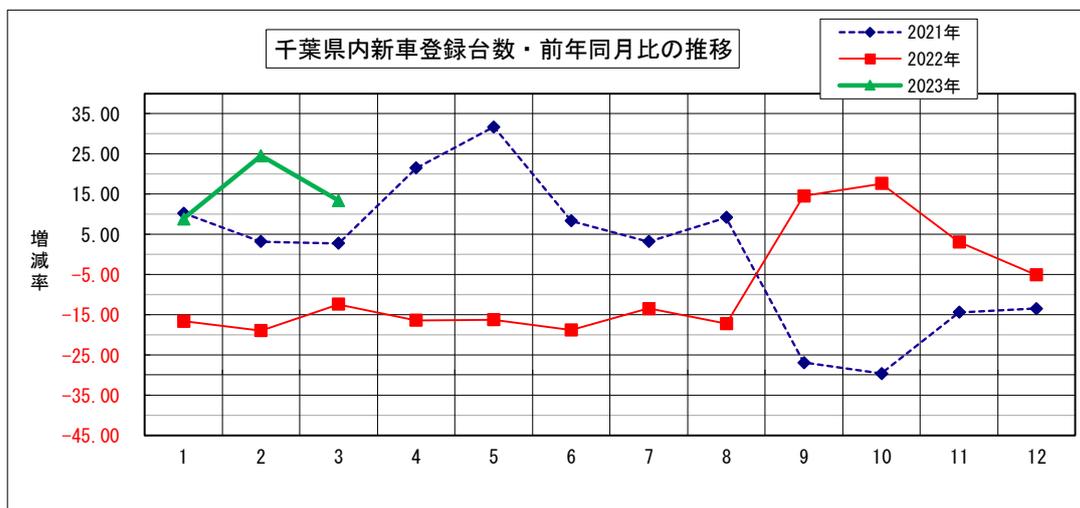
■ 自動車ディーラー

令和5年3月における千葉県内の登録車新車販売台数(軽自動車除く)は、前年同月比13.4%増の16,949台(前年同月14,944台)と、3カ月連続で前年実績を上回った。

占拠率は1位がトヨタで47.3%、2位はホンダ10.6%、3位は日産9.7%となった。

千葉県内新車登録台数状況（軽自動車を除く）

		2023年3月	前月	前月比	前年同月	前年比
乗用	普通	9,647	7,141	135.09%	8,048	119.87%
	小型	5,004	3,837	130.41%	4,829	103.62%
	小計	14,651	10,978	133.46%	12,877	113.78%
貨物	普通	778	459	169.50%	568	136.97%
	小型	1,030	821	125.46%	995	103.52%
	小計	1,808	1,280	141.25%	1,563	115.67%
特殊等	特殊	445	346	128.61%	455	97.80%
	バス	45	17	264.71%	49	91.84%
	小計	490	363	134.99%	504	97.22%
総合計		16,949	12,621	134.29%	14,944	113.42%



一社) 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部調べ

3. その他の動向

求人

有効求人倍率

(単位：倍、増減はポイント)

	2023年2月	前月	増減	前年同月	増減
銚子公共職業安定所管内	0.93	0.95	▲ 0.02	0.89	0.04
茂原公共職業安定所管内	0.96	0.91	0.05	0.92	0.04
いすみ公共職業安定所管内	1.35	1.33	0.02	0.92	0.43
成田公共職業安定所管内	1.14	1.14	0.00	0.82	0.32
佐原公共職業安定所管内	0.97	0.92	0.05	0.83	0.14
千葉県	1.13	1.11	0.02	0.96	0.17

有効求人倍率＝有効求人数÷有効求職者数

ハローワーク銚子/茂原/いすみ/成田/佐原 調べ

倒産

【令和5年3月度】

2023年(令和5年)3月度の企業倒産件数は28件、前月比14件増(100.0%増)、前年同月比では15件増(115.3%増)となり、平成以降の3月単月では2014年(平成26年)の27件に次いで14番目に少ない件数となった。

負債総額は45億2100万円、前月比26.9%増、前年同月比では142.8%増となり、平成以降の3月単月では2012年(平成24年)の40億6300万円に次いで14番目に少ない金額となった。

産業別では『建設業』が11件(構成比39.3%)で最多、次いで『卸売業』と『サービス業他』が各5件(構成比17.9%)となった。

資本金別では『300万円以上(1000万円未満)』が12件(構成比42.9%)で最多、次いで『1000万円以上(3000万円未満)』が7件(構成比25.0%)となった。

従業員数別では『5名未満』が22件(構成比78.6%)で最多となった。

原因別では『業績不振』が25件(構成比89.3%)で最多となった。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて倒産した「新型コロナウイルス関連倒産」については5件発生した。

倒産形態別では『破産』が27件(構成比96.4%)で最多となり、再生型倒産は発生しなかった。

感染第7波、感染第8波がコロナ渦以降、最大の新規感染者数を記録したものの、政府は緊急事態宣言等による行動規制は行わず、社会経済活動を優先。マスク着用緩和(個人判断)が始まり、5月には特段の支障が生じないことを前提に新型コロナウイルスを季節性インフルエンザと同じ「5類相当」への引き下げを決めるなど、コロナ渦前へ回帰する動きが加速した。一方、ウクライナ情勢悪化による資源・エネルギー価格の高騰が深刻な物価高を引き起こし、さらに人手不足を背景とした人件費の高騰が企業の収益性改善に向けた取り組みの大きな障壁となっている。

中小企業支援については、経済産業省・金融庁・財務省の連携による「中小企業活性化パッケージNEXT」で収益性改善や事業再生に向けた取り組みを支援するほか、中小企業庁は「コロナ借換保証」や「保証付DDS」の活用促進で民間ゼロゼロ融資の返済負担軽減、新たな資金需要やキャッシュフロー改善に向けた支援を開始している。

東京商工リサーチが2月に実施したアンケート調査(千葉県)によると原材料・資材の調達コスト増加の影響を受けている企業は82.6%、今後影響が見込まれるケースを含めると92.5%の企業が調達コストの増加に言及した。一方、調達コスト増加の影響を受けている企業のうち、価格転嫁が全くできていない中小企業は54.7%で、価格転嫁ができていても10%未満のケースが20.3%に及んでおり全額転嫁できているケースはわずか6.3%にとどまった。価格転嫁に苦慮する中小企業において、今後の収益性改善に向けた具体的な道筋を描くことは極めて困難で、浮上のきっかけを掴めぬまま事業継続を断念するケースが増加したことが企業倒産件数を大きく押し上げたものとみられる。

深刻化する物価高への対応が政府・行政における喫緊の課題となるが、コロナ渦で債務が大きく膨らみ、業績の回復が遅れている中小企業にとって残された時間はそう多くない。コロナ渦初期の「全社救済」を前提とした例外的な資金繰り支援の再開に大きな期待はできず、2023年度は再生可能性の低い中小企業の淘汰が加速し、企業倒産はさらなる増勢を示すものとみられる。

(株)東京商工リサーチ・千葉県内企業倒産状況より

銚子市漁業協同組合
銚子商工会議所
株式会社 東京商工リサーチ
国土交通省 統計情報
一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部
独立行政法人 農畜産業振興機構
JA全農たまご 株式会社
ハローワーク銚子
ハローワーク茂原
ハローワークいすみ
ハローワーク成田
ハローワーク佐原
(順不同)

※ その他掲載データは当金庫独自の調査によるものです。

発行；銚子信用金庫
編集；地域サポート部
住所；〒288-8686 銚子市双葉町5-5
電話；0479-21-5522
FAX；0479-24-4591
E-mail；suishin@choshi-shinkin.co.jp
URL；http://www.choshi-shinkin.co.jp



ちょうしんきん 相談会・セミナーのご案内



ちょうしんきんでは、(一社)千葉県中小企業診断士協会と連携した経営相談会や、千葉県事業承継・引継ぎ支援センターと連携した事業承継に関する個別相談会を、営業エリア内の各地で開催しています。

また、法律や税務等に関する無料相談会を本店で毎月開催しています。いずれも、ご参加・ご相談は無料です。お気軽にご参加ください。

経営相談会

- ◆ 2023年6月21日(水) 開催場所：本店
- ◆ 2023年8月16日(水) 開催場所：旭中央支店
- ◆ 2023年10月18日(水) 開催場所：東金支店
- ◆ 2023年12月20日(水) 開催場所：大原支店
- ◆ 2024年2月21日(水) 開催場所：神栖支店

事業承継に関する個別相談会

- ◆ 2023年7月12日(水) 開催場所：大原支店
- ◆ 2023年9月13日(水) 開催場所：神栖支店
- ◆ 2023年11月8日(水) 開催場所：本店
- ◆ 2024年1月10日(水) 開催場所：旭中央支店
- ◆ 2024年3月13日(水) 開催場所：東金支店

本景況レポートをご利用いただきありがとうございます。
誠に勝手ながら、今回より、従来の毎月発行から四半期(年4回)発行に変更させていただきます。
また、紙使用量削減の取組みの一環として、印刷物の配布を今回で終了とし、次回以降は、当金庫ホームページに掲載するのみにしましたので、引き続きご利用くださいますようお願い申し上げます。